

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和5年 6月 30日	
都道府県知事 佐藤 樹一郎 殿	
提出者	
住 所 大分県津久見市合ノ元町5番18号	
氏 名 株式会社 戸高鉦業社	
代表取締役社長 戸高 鉄洋	
電話番号 0972-82-6111	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社 戸高鉦業社 大泊工場
事業場の所在地	大分県臼杵市大字大泊字山口60番地
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	21：窯業・土石製品製造業
② 事業の規模	3,960,000,000 円
③ 従業員数	32名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙の通り

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 統括責任者 大泊工場 工場長 ① 廃棄物処理方針の策定 ② 廃棄物処理に関する各種事項の決定・承認 廃棄物担当 大泊工場 製造課 ① 廃棄物処理計画の作成 ② 廃棄物の把握 ③ 処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理 ④ マニフェスト票の交付、管理 ⑤ 監督官庁への各種報告 ⑥ その他、関係する事項			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	排 出 量	別紙の通り	t
	(これまでに実施した取組) 別紙の通り		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	排 出 量	別紙の通り	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙の通り		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 各廃棄物は種類別に分別、保管をしている		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特になし		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

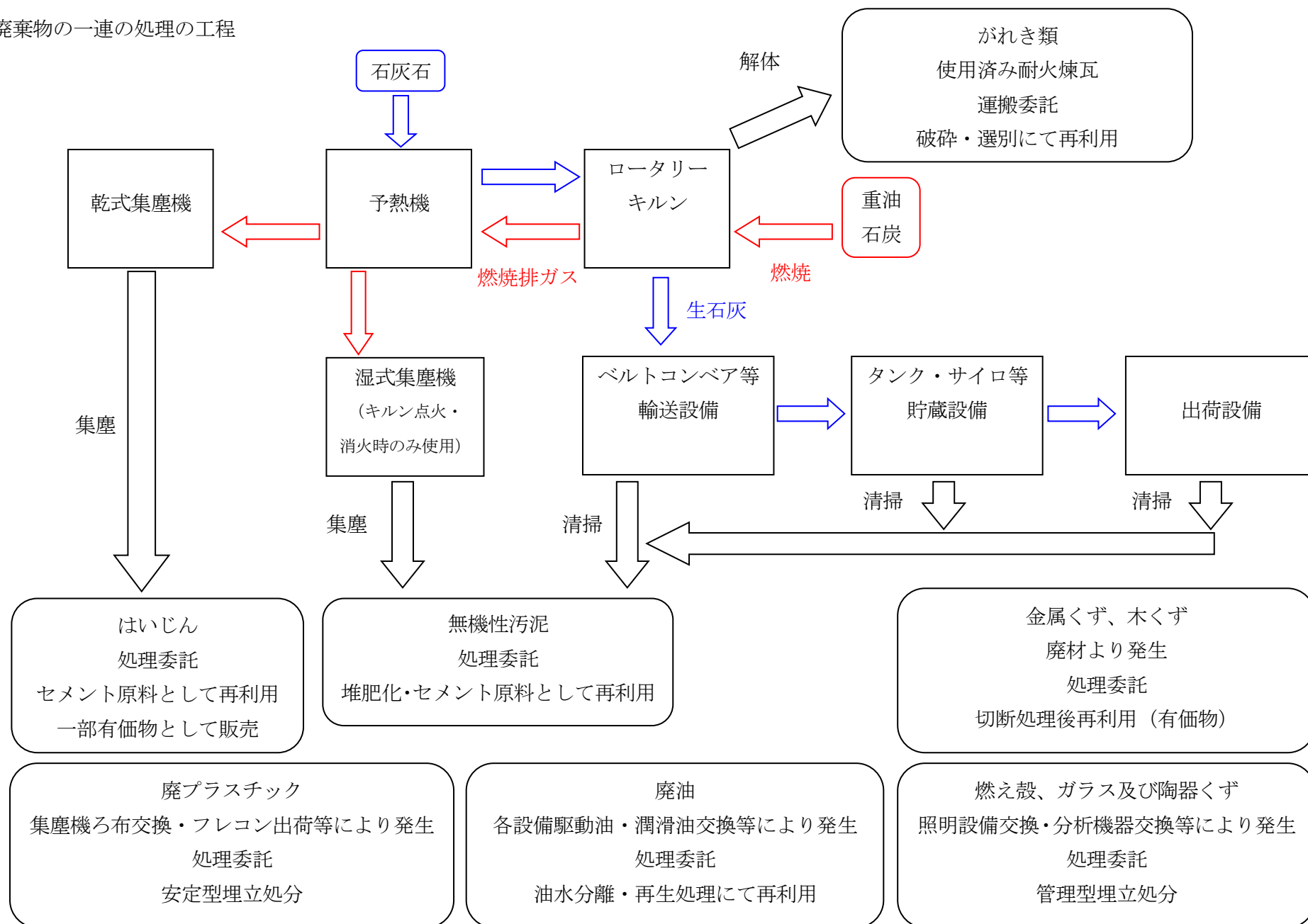
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①委託の状況	【前年度（令和3年度年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	全 処 理 委 託 量	別紙の通り	
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	別紙の通り	
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	別紙の通り	
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	別紙の通り	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	別紙の通り	
	(これまでに実施した取組)		
	別紙の通り		

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	別紙の通り	
		全 処 理 委 託 量	別紙の通り	
		優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	別紙の通り	
		再生利用業者への 処 理 委 託 量	別紙の通り	
		認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	別紙の通り	
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	別紙の通り	
		(今後実施する予定の取組)		
	別紙の通り			
※事務処理欄				

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

○産業廃棄物の一連の処理の工程



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	ばいじん	汚泥	廃油	燃え殻	ガラス陶磁器	廃プラスチック	木くず	がれき類
	排 出 量	8598.47t	108.71t	0.67t	1.32t	0.04t	12.62t	0t	602.96t
	（これまでに実施した取組） ・ 適正燃焼空気量によるばいじん発生量の抑制 ・ 効率キルン 操業によるばいじん、無機性汚泥の発生抑制 ・ ばいじんをセメント原料として製品化、一部販売 ・ 金属くずは切断後再生資源へ								
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	ばいじん	汚泥	廃油	燃え殻	ガラス陶磁器	廃プラスチック	木くず	がれき類
	排 出 量	8,500t	150t	1.0t	2t	0.1t	10t	0.5t	600t
	（今後実施する予定の取組） ・ 特になし								

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	ばいじん	汚泥	廃油	燃え殻	ガラス陶磁器	廃プラスチック	木くず	がれき類
	全処理委託量	8598.47t	108.71t	0.67t	1.32t	0.04t	12.62t	0t	602.96t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量								
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	8598.47t	106.90t	0.67t	0t	0t	12.62t	0t	602.96t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量								
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量								
	（これまでに実施した取組） ・ 再生利用業者への委託選定。								
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	ばいじん	汚泥	廃油	燃え殻	ガラス陶磁器	廃プラスチック	木くず	がれき類
	全処理委託量	8,500t	150t	1.0t	2t	0.1t	10t	0.5t	600t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量								
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	8,500t	150t	1.0t	0t	0t	10t	0.5t	600t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量								
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量								
	（今後実施する予定の取組） ・ 優良認定処理業者への委託								

